



第1号の1面(平成19年7月発行)

三軒屋新聞第50号を記念

第1号をみなさまと振り返る

当機関紙「三軒屋」は今年から16年前、平成19年7月に隊員の士気高揚や隊員家族・協力団体等への理解促進および活性化を目的として発行された。

三軒屋駐屯地所在部隊の

訓練の様子や、普段は見るこ
とができない隊員たちの日常
などを年3回お届けし、平成
23年の東日本大震災のときに
は、隊員の被災地での活動状
況をいち早く伝えるため号外
を発行したこともあった。

この「三軒屋」がみなさま
にとって、三軒屋駐屯地を
知る一助であり、楽しみで
あるように、日々任務に
邁進していく所存だ。

第1号1面の記事を見ると、
協力会は太田康昌氏、OB会
は福島達美氏が会長に在任中
であり、それぞれ定期総会を
実施していることが窺える。
2面以降には訓練や行事の
様子が掲載されている。

(1) 第1号 さんげんや 平成19年7月10日

三軒屋駐屯地協力会 定期総会



三軒屋駐屯地協力会(会長 太田康昌氏)は六月十日、三軒屋駐屯地体育館において、平成十九年度定期総会を実施した。三軒屋駐屯地協力会は、個人会員二四八名、法人百八十九社の会員があり、当日は、六六名の会員が総会に参加した。総会では、前年度事業報告、会計決算

報告、本年度事業案、会計予算案などについて審議が行われ、いずれについても全会一致で承認された。総会の後、駐屯地司令(天雲一佐)による防衛講話が行われ、駐屯地の現況等について写真などを交えて説明された。



駐屯地司令(天雲一佐)による防衛講話

三軒屋駐屯地OB会 定期総会



三軒屋駐屯地OB会(会長 福島達美氏)は、五月十三日、福島達美氏による防衛講話を実施した。

駐屯地OB会は、現在二二三名の会員があり、総会には、四五名の会員が参加した。総会では、前年度事業報告、会計報告、本年度事業計画、予算計画の審議が行われ、全会一致で承認された。また、役員改選が行われ、新理事が三人就任されるなど、新役員への就任について承認された。



三〇五施設隊隊長三浦一佐

は、六月三日、岡山県瀬戸内市邑久町の吉井川河川敷において、国交省中国地方整備局、岡山県及び吉井川流域十三市町村が主催する「吉井川水防演習」に参加した。演習は、吉井川流域において洪水や高潮等の水害が発生する」という想定のもと、小隊長・影野准尉が率いる渡河隊小隊「台



艇門橋による車両の搬送

吉井川水防演習参加

をキレッと実施し、地域住民の防災意識の高揚に寄与すると共に、各関係機関との連携の強化を図ることができた。

うれしいおしらせ

三軒屋駐屯地公式ホームページでもこの「三軒屋」が読めるようになります！
50号を記念してより広く、より手軽で多くの人にこの「三軒屋」を楽しんでもらえるように、今号よりホームページ上で一部を公開する次第となりました。

それに先立ち、新たなコンテンツの追加やスマートフォンからでも閲覧が容易な形式にするなど、大幅にリニューアルしました。毎月更新しているコンテンツもあるのをお見逃しなく！
※「三軒屋」の公開は11月下旬を予定しています。

↓ホームページ QRコード



→トップページ



駐屯地創立68周年記念行事

秋晴れて、4年越しの一般開放



三軒屋駐屯地（司令・石嶋2佐）は令和5年10月28日（土）、三軒屋駐屯地創立68周年記念行事を開催した。昨年までは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、あるいは縮小しての実施であったため、一般開放は4年ぶりとなった。今年は式典に国会議員、自治体首長の方々をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜るとともに、大勢の地域の方々にご来場いただいた。



石嶋司令は記念式典の式辞において、記念行事を挙行することができると慶び、地域の方々と関係団体の方々の自衛隊に対するご理解、当駐屯地への絶大なご支援・ご協力への謝意を述べた。

加えて、昨今の国内外情勢を踏まえ、新たに策定された戦略三文書に基づき防衛力整備が加速するとともに、各種事態に対して、より実効性ある抑止力が求められていること、そのため駐屯地各部隊は協同訓練等を通じて日々練成を重ね、業務を実施し、記念式典当日においても、駐屯部隊である第三〇五施設隊と第二直接支援隊の主力は、九州における協同訓練に参加中であること、また、武力攻撃事態だけでなく、平成30年の西日本豪雨に見られるような自然災害や今後起こると予想されている南海トラフ巨大地震などの大規模災害に対しても駐屯地として即応できる態勢を保持している旨を説明した。

式辞の最後には、「駐屯地創立68周年という記念すべき日にあたり、ここにお集まり頂いた皆様、そして、国民全体の期待に応えるべく、駐屯各部隊は、それぞれの専門的任務に対し、部内外関係機関との連携を密にして、いついかなる事態にも対応していく所存であります。」と決意を述べた。



155mm榴弾砲FH70による大迫力の空砲



岡山理科大学クリスタルコール部による演奏

その後、装備品の展示や、隊員によるらっば吹奏等が行われた。中でも、駐屯地の隣に校舎を構える、岡山理科大学の混声合唱団クリスタルコール部による素晴らしい演奏はご来場の方々と、隊員たちの心を癒し、会場も大いに盛り上がった。

駐屯地司令から

感謝状

平素から我が国の防衛政策と自衛隊の活動に対して深いご理解を寄せられ、三軒屋駐屯地に対しご支援、ご協力をいただいた方々に、駐屯地司令から感謝状が贈呈されました。

受賞者

- 前防衛モニター 山崎 美佳 様
- 駐屯地協力会 小林 修一 様
- 駐屯地OB会 津組 清則 様
- 施設科OB会 中野 正仁 様



前列左より、小林様、駐屯地司令、津組様、中野様

感謝状の紹介

中部方面総監感謝状

三軒屋駐屯地OB会長

長川 良成 様



左より中部方面総監、長川様

新部隊長等の紹介

第312基地通信中隊

三軒屋派遣隊長

2等陸尉

田上 一貴 様



〔出身地〕鹿児島県
〔趣味〕旅行

ふれあい納涼盆踊り大会

三軒屋駐屯地は8月9日、駐屯地周辺の町内会と合同で盆踊りを開催した。4年ぶりの開催となった。

当日は台風の影響により開催が懸念された。しかし、日ごろの行いのおかげか何とか天気も持ちこたえ、約1300名の来場者が訪れた。隊員たちが地域の方と、練習した盆踊りを披露すると次第に人が増えていき、いつの間にか盆踊りの輪は大きく二重の円を描いていた。また、町内の小学生たちの太鼓演奏



が花を添え、非常に盛り上がった盆踊り大会となった。

←盆踊りのダイジェストが中部方面隊のYouTubeチャンネルにてご覧いただけます。拡散・グッドボタン👍よろしくお願いします。



＜施設隊＞#3隊野営 7月20日～25日
汀線部障害の構築



＜2直支＞揚重機操作訓練
7月26日～28日



定期異動者見送り
7月31日



会計実地監査
9月25日～27日



＜支処＞持続走競技会
10月3日～6日

中国遺棄化学兵器発掘回収事業に参加して



支処 陸曹長 高妻 祐介
陸幕長への出国報告
右から3番目が本人

私は、令和5年7月12日から同年9月13日までの間、中国黒龍江省牡丹江市で実施された、中国遺棄化学兵器発掘回収事業に参加してまいりました。この事業は化学兵器禁止条約に基づき、旧日本軍が先の大戦終了時まで中国に遺棄した化学兵器の廃棄を行うものです。

我々防衛省から派遣された武器科隊員2名及び化学科隊員2名が支援班として事業を実施する企業に対し砲弾及び化学剤に関する助言・指導することを任務とし共に発掘回収の作業を実施しました。

猛暑及び残暑の時期に日本企業とはもちろん、中華人民解放軍兵士達と共に化学剤の脅威の中、防護衣・防護マスクを装着して発掘回収作業を実施していくことで少しずつ打ち解け連携が強化されていったことはとても印象に残っています。また、大量か



発掘砲弾の整理

金属が反応した地点の掘削

つ本物の化学砲弾を国内で取り扱う機会は少ないため、自分自身の能力の向上を実感しました。
休日は自衛官4名での行動が主であり、翻訳アプリを駆使し食事の注文でも苦戦していましたが、帰国の際には中国語でビールが注文できるまでになったことは日頃の練成の成果だと思っています。
終わってみても非常に長く感じた2か月でしたが、生活面も含め体感しなければ分からない苦労ができたことは大きな財産だと感じています。後輩隊員が興味を持って同事業の参加を希望してくれることを願っています。

新隊員教育を終えて



施設隊 1等陸士 古城伊武樹

私が新隊員教育を終えて、まず感じたことは、6ヶ月という月日がとても早く感じたということです。

私は大学を卒業後、約3年間一般企業で勤め、自衛隊に入隊しました。はじめは規則正しい生活や規律、厳しい訓練に耐えることが精いっぱいでした。また、課業外にもやらなければならぬことが多く、とても辛かったです。そのような中でも、同期と共に数々の試練を乗り越えて、とても楽しい日々を過ごすことができました。

同期たちとは、課業外に一緒に体力錬成を実施し、できないことは支えあうなどして、毎日を助け合い、お互いに成長できたと思います。

助教の方々は自衛隊の基本・基礎や施設科部隊に関する知識等、たくさんのごことを教えてください。時には厳しいことを言われたりすることもありますが、教育終了まで私たちのために親身になってご指導をしてくださりました。

当面の目標は、体力検定の腕立て伏せで1級を取り、早く仕事を覚えて、1日でも早く部隊の戦力になれるよう、より一層精進していきます。



駅伝でも活躍した西村士長



赤ちゃん おめでとう

祝 定年退官

永年の勤務 お疲れ様でした



2直支 陸曹長 木村 晋
令和5年7月10日付



支 処 3等陸尉 板谷 英樹
令和5年7月6日付

競技会等結果

支 処

〔令和5年度 関西西処 持続走 競技会〕

陸士の部(男性) 第2位

陸士長 西村 昭宏

陸士の部(女性) 第1位

陸士長 清宗 夏海

第2位

陸士長 瀧川穂乃香